

## 令和4年度 第20回「加賀野地区 まちづくり会議」概要

日 時：令和4年7月22日（金） 19：30～20：30

場 所：加賀野公民館

参加団体等：友賀会、青年会、防犯協会、加賀野地区振興協議会、昼間パトロール隊、社会福祉協議会、加賀野地区町会連合会、加賀野子供会、交通安全協会、町会連合会理事、公民館長など

### 発言【1】

(1)公民館の防災倉庫建設事業で、加賀野はいつになるのか。

(2)市民協働のまちづくりの推進で、令和6年4月に公民館がコミュニティセンターになるが、市立公民館28館一斉に変わるのか。

### 【市】

(1)今年は4館を整備し、防災コミュニティセンターを建設するところはその中につくります。加賀野地区は令和7年度を予定しています。

(2)基本的に防災組織ができることでスタートできます。絶対ではありませんが、結果的には28のコミュニティセンターがスタートできると思っています。

### 発言【2】

市民協働のまちづくりの件で、区長会への説明と公民館への説明で、すごく差があったように思います。

### 【市】

地域コミュニティは、まずは皆で地域を守っていくために議論できる場所を作ることになります。地震が起きたら、3日間は地域の皆で守る「自分でできること（自助）」「地域でできること（共助）」を地域コミュニティの中で実践していくことが、一つの地域づくりにつながります。最低ラインのハードルとして、まず防災から始めた方が良くと思います。

### 発言【3】

コロナ支援では、対象が住民税非課税の世帯であったりします。非課税ではない世帯も、頑張っても働かないと生活できないから毎日頑張っているのに、課税・非課税で手当のある人・ない人に区切られるか疑問に思う。

## 【市】

国の制度で、コロナ禍において経済的な影響を受けやすいひとり親世帯及び、ふたり親世帯でも収入の少ない子育て世帯に対し、給付金を支給しています。

(令和2年度2回、令和3年度1回、令和4年度1回)

また、令和3年12月に、国の制度で児童一人あたり10万円の給付金を支給した際には、児童手当の特例給付(所得が高い人)の方は対象外でしたが、市から給付を行いました。

## 発言【4】

加賀野には公園がたくさんあり、木が育ちすぎて住民で伐採できるようなものではない。

## 【市】

令和3年度から、サステイナブル・グリーン事業として、地元と協議を行いながら家屋付近や電線付近の障害物となる木を中心に、年間20本程度の伐採を行っている地区もあります。

今まで伐採しても目立たず、どこを伐採したかよく分からない事がありました。そこで、思いきって切る「強度伐採」を5年かけて行い、その後普通の剪定にはいるということ、公園の維持管理業務やサステイナブル・グリーン事業にて実施、計画しております。

## 発言【5】

白山市にも、子供達が遊べる室内の大型施設が1つでもあればなと思います。

## 【市】

市内には13の児童館がありますので、ご利用下さい。

また、令和6年3月完成予定の(仮称)白山総合車両所ビジターセンターの中に、子どもが遊べる施設を整備いたします。

## 発言【6】

(仮称)白山総合車両所ビジターセンターについて、市民は無料で利用できるよう考えていただければと思います。市民無料は月1回でもいいですし、子ども割などもご検討をお願いします。

**【市】**

なるべく高くならないようにしたいと思います。イベント等も行い、全国から人に来ていただいて楽しめる施設であり、それを踏まえた指定管理制度なども検討しています。